

HINATAの発達支援プログラム

一人ひとりの子どもの発達と興味に合わせた課題を、安心してじっくり取り組める環境の中で行います。人とやり取りする楽しさ、自分でできる達成感を通して、発達の5領域の内容に対応した支援を行います。

1. 本人支援

- 1 健康・生活:健康状態の把握に努め、健康な心と身体の育成と、基本的な生活リズムの安定に向けて療育支援を行います。

<具体例>

- ・健康状態の常なるチェックと必要な対応
- ・身支度の習慣を覚える支援

- 2 運動・感覚:さまざまな身体感覚や感触を刺激し、運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感などの発達を促します。

<具体例>

- ・感覚あそび
- ・トランポリン、サーキットを取り入れた粗大運動
- ・製作で手先を使う微細運動
- ・音楽プログラムを通し表現力、想像力の育成

- 3 認知・行動:空間や物の概念形成を促し、適切な距離や行動の習得を支援します。1人1人の認知レベルをあらゆる方向からアプローチし評価を行いスモールステップで積み上げを確立させていきます「やってみよう!」「できた」の経験を積み重ね自己決定や達成感の形成を行います。

<具体例>

- ・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成
- ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得
- ・認知の偏り等の個々の特性に配慮する。

- 4 言語・コミュニケーション:人や音楽等との関わりを通して基本的な言葉の認識を図り、自発的な発声や感情の表出に向けて働きかけます。また 人との相互作用を通してコミュニケーション能力の向上を図り、子どもの気持ちを尊重した関わりと活動の提供を行います。

<具体例>

- ・オノマトペなどの言葉遊び
- ・文字や記号、絵カード、ジェスチャー等様々な方法を活用したコミュニケーション
- ・課題の意図に合わせた取り組み

- 5 人間関係・社会性:身近な人と信頼関係を築き、安心できる環境のもと、社会性や対人関係の芽生えを支援していきます。また順番や役割、ルール、感情のコントロールなど社会生活に適応するために必要なスキルの獲得を支援します。

<具体例>

- ・ふれあい遊び
- ・ルールのある遊びや活動
- ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊び
- ・イベントなどを通じた地域との交流

2. 家族支援

- ・お子様の療育の後に、子育ての助けとなるように、本人の強み、感覚や認知の特性などをお伝えします。また、ご希望により面談の機会を設けます。
- ・ご希望により親子同室での療育を行います。
- ・親子分離の療育はご家族に休んでもらう時間とも考えています。